

各 部 局 長  
会 計 管 理 者  
各 事 務 局 長  
教 育 長

市 長

郡山市まちづくり基本指針第八次実施計画策定方針及び令和 7 年度予算編成方針に  
ついて (通知)

このことについて、下記のとおり通知する。

## 記

### 1 本市方針策定にあたり参考とする国の政策方針

- (1) 経済財政運営と改革の基本方針 (骨太の方針) 2024 (令和 6 年 6 月 21 日閣議決定) (抜粋)
  - ① 豊かさを実感できる「所得増加」及び「賃上げ定着」
  - ② 豊かさを支える中堅・中小企業の活性化
  - ③ 投資の拡大及び革新技术の社会実装による社会課題への対応
  - ④ スタートアップのネットワーク形成や海外との連結性向上による社会課題への対応
  - ⑤ 地方創生及び地域における社会課題への対応
  - ⑥ 幸せを実感できる包摂社会の実現
  - ⑦ 持続的な経済成長の礎となる国際環境変化への対応
  - ⑧ 防災・減災及び国土強靱化の推進
- (2) 新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 2024 改訂版 (令和 6 年 6 月 21 日閣議決定)
- (3) デジタル田園都市国家構想基本方針 (令和 4 年 6 月 7 日閣議決定)
- (4) 令和 7 年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について (令和 6 年 7 月 29 日閣議了解)  
※別添資料 ([掲示版\\_政策開発課](#)) 参照のこと

### 2 本市の財政状況と財政運営の考え方

- (1) 歳入の状況と方向性
  - ・令和 5 年度の市税等決算については、新型コロナウイルス感染症等による経済活動停滞からの回復がみられたこと等から前年度比で増加の見込みとなっている。
  - ・現下の国際情勢による物価高騰等の歳入への影響について不透明さを残す状況にある。→「デフレ脱却のための総合経済対策」に伴う地方創生臨時交付金等の特別な財源措置の廃止等、地方財政の構造が平時に戻ることを前提とした歳入の見通しを立てつつ、国の令和 7 年度予算要求における地方財政措置等の動向を注視し財源確保を図る必要がある。
- (2) 歳出の状況と方向性
  - 【今後さらに財政需要の増加が見込まれる要因】
  - ・高齢化等に伴う扶助費等社会保障費の増加
  - ・公共施設長寿命化等による施設の改修・更新に係る維持補修費等の増加
  - ・人件費や物価の上昇による物件費等の増加

- ・原油価格・物価高騰対策及び気候変動対策等の危機管理予算への対応
  - ・学校給食の完全公費負担をはじめとする、更なる子育て支援に係る事業費の増加
- E B P Mに基づき、限られた人員・時間・予算を必要性や緊急性、税収増効果の高い施策から優先的に投入するワイズスペンディングにより「投資的まちづくり」の視点が必要となる。
- ⇒歳入・歳出ともに投資的・経営的視点を重視し、自主財源の確保・充実、財政体質の強化を図っていく。

### 3 第八次実施計画策定方針及び予算編成方針

SDGsの目標年限である2030年を間近に控え、少子高齢化・人口減少をはじめとする将来課題の的確な把握のもと、市民が誰一人取り残されることなく心身ともに健康で幸福を感じられる「ウェルビーイング都市」を目指し、次世代に負担を残さず次の100年を引き継ぐことができるよう以下により本市の政策を推進する。

#### 【市政執行方針】

「ウェルビーイング都市実現型」課題発見・解決先進都市の創生

#### 【基本方針】

- ① 「子どもが安心して生まれ育つことができるまち」の実現に向けた地域全体での支援
- ② 全世代が多様性を尊重し、社会とつながり合う生涯活躍のまちづくり
- ③ デジタル行財政改革を踏まえた公共サービス等の維持・強化
- ④ 人流・商流・物流のハブ機能の強化
- ⑤ 農福商工・産学官連携の強化と気候変動に対応したサーキュラーエコノミーの推進

#### 【各方針に共通する横断的視点・取り組み】

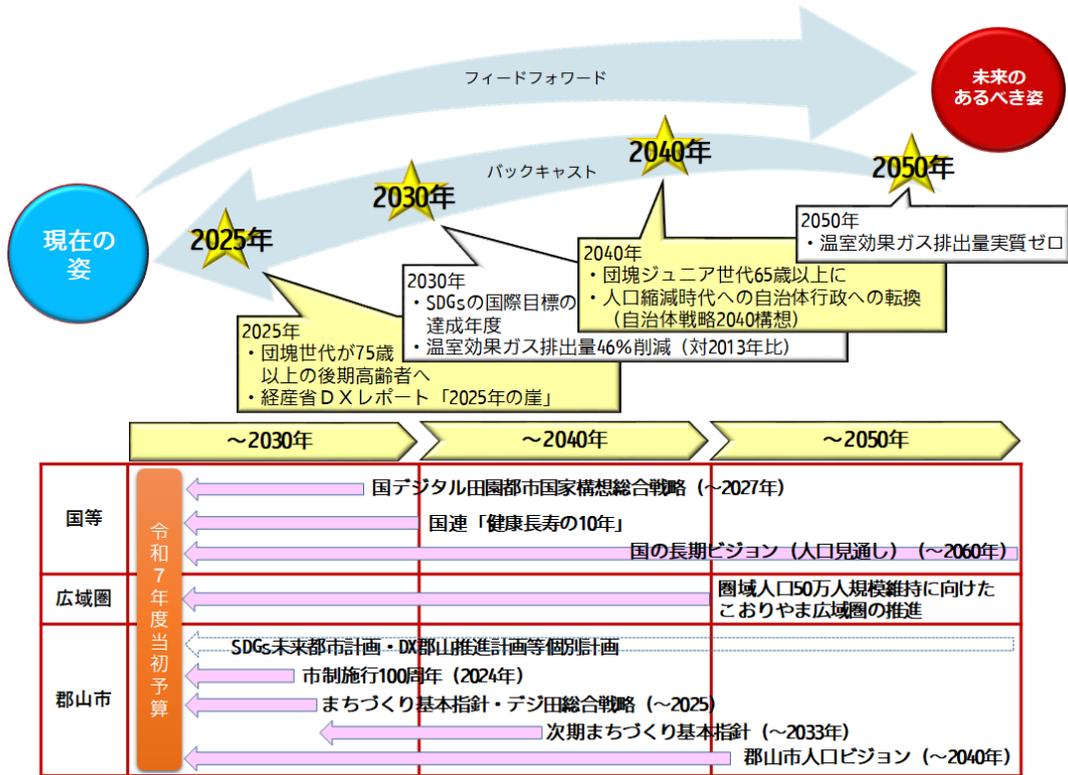
- ・将来予見可能性の高い課題からのバックキャスト、未来を見据えて課題解決に着手し主体的に行動するフィードフォワードの視点
- ・気候変動、人口変動、デジタル変動、為替・物価変動等の情勢変化を意識し、各種計画・施策等についてローリングシステムにより絶えず見直していく視点・取り組み
- ・2030年のSDGsのゴール、ターゲットの達成を目指す視点・取り組み
- ・生産年齢人口減少下の社会・経済活動を維持するためのDX戦略の推進、併せて市民、事業者等のIT・デジタルスキル向上の視点・取り組み
- ・各部局間をはじめ、こおりやま広域連携中枢都市圏、研究機関、大学、企業等との連携・協奏の視点・取り組み
- ・「次の100年」に向け、Z世代の新発想を積極的に施策に反映させる視点・取り組み
- ・ラムサール条約登録推進活動など持続可能な自然環境保全・共生の視点・取り組み
- ・「入るを量りて出ざるを制す」の考えのもと、限られた財源の有効活用、併せて公有資産の徹底的な活用による新たな財源（J-REIT等）を確保する視点・取り組み
- ・人口減少下での将来世代の負担軽減を意識し、窓口DXをはじめとする行政のスリム化、コンパクト化を踏まえた効果的な行財政運営と市民の理解促進の視点・取り組み

令和7年度予算に関する個別の要求事項については、別途財務部長から通知する。

以上

【参考】

【バックキャスト・フィードフォワードのイメージ】



【ウェルビーイング都市実現に向けた方針のイメージ】

